

令和4年度長岡京市防災会議 議事要旨

日時：令和5年3月28（火）午後3時から
場所：長岡京市役所新庁舎5階第1委員会室
出席者

会長：中小路市長

委員：松本委員、末永委員、森田委員、佐藤委員、早藤氏（田村委員代理）、八島委員、木村委員、田端委員、八木委員、碓委員、西村委員、小倉委員、森本委員、高橋氏（松岡委員代理）、小林委員、森田委員、山田氏（杉田委員代理）、森本氏（西谷委員代理）、神長委員、角南氏（越田委員代理）、馬場委員、稲生委員、野田委員、吉岡委員、平木委員、松井委員、三好委員

会長あいさつ

本日は、年度末の大変お忙しいところにも関わらず、令和4年度の本市防災会議を開催させていただきましたところ、こうして多くの皆様に御出席をいただき感謝申し上げます。

また、オンラインで御参加の皆様もありがとうございます。

さて、御案内のようにこの3年間、新型コロナウイルス感染症対策ということで、本当に皆様方に様々な面で御不便、御迷惑をおかけして参りましたが、ここに来てマスクについては個人の判断に委ねられることとなり、連休明けからはいよいよ感染症法上の類型も見直しされるということで、少しずつコロナ前の日常を取り戻してきたと感じております。

あらためて、この間の皆様方の御理解と御協力に、この場をお借りして感謝申し上げます。

そのようなこともあり、昨年から本市においても様々な事業やイベントについて、対策をしっかりと施しながら、可能な限り通常通りに戻していく方針で臨んで参りました。

昨年には、3年ぶりに総合防災訓練も開催をさせていただくことができました。

訓練等、人が集まるといえることができなかった時期を経てただけに、防災面においても取り組みを再開できたことを大変嬉しく思っております。

また、2月6日から新庁舎の共用が開始されました。以前の庁舎の最大の課題が、耐震化ができていないことであります。特に、耐震化ができてきかない北棟に、災害時の要になる防災・安全推進室がございましたので、なかなか厳しい状況でありましたが、こうして新庁舎に入ったことで、長岡京市としての防災機能も格段に向上したものと考えております。

このようなことも踏まえ、本日、防災計画の様々な見直しについてお諮りさせていただきたいと思っております。

幸いにして、昨年は大きな災害ありませんでしたが、先般には大雪もあり、様々な災害時の想定を行う必要がございます。本日は是非、有意義な会議になりますよう、皆様方には忌憚のない御意見を頂戴できればと思っております。その事をお願い申し上げます。開催の御礼の御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局より委員の御紹介

事務局より本会議の公開について説明後に審議

会長

本会議の公開または非公開につきまして、委員の皆さんにお諮りいたします。

本会議につきましても、指針に基づき会議及び記録について公開ということで御異議ございませんか。

御意義もないということで公開とさせていただきます。

事務局より案件1「長岡京市地域防災計画の改定について」説明後に審議

会長

ただいま説明のありました内容につきまして、御質問、御意見ございますか。

御質問等もないようですので、次の案件に移らせていただきます。

事務局より案件2「令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について」説明後に審議
会長

ただいま報告のありました内容につきまして、御質問、御意見ございますか。
御質問等もないようですので、次の案件に移させていただきます。

事務局より案件3「今年度における災害への対応について」説明後に審議
会長

ただいま報告のありました内容につきまして、御質問、御意見ございますか。

委員

1月の積雪があったとき、向日市の一文橋付近のJR高架下を自転車を押しながら通りました。この場所は坂道であり、降雪時には玉突き事故が発生する可能性がある箇所と思われませんが、どなたか分かりませんが、玉突き事故が起らないように、車を止めながら間隔を空けるように指導されている方がいらっしゃいました。向日市内でありましたが、大変良い対応であると思いました。

長岡京市内も傾斜が激しい箇所があると思いますが、私自身、歩道がないところでは車が滑って来たらどうしようという不安がすごくありました。公用車のスタッドレスタイヤについて説明がありましたが、この地域は普段雪が降らないこともあり、着用率が下がっている思われ、高価であるスタッドレスタイヤは普及しづらいということもあります。ただ、今回も夕方から降り始めてかなり凍てついたり、帰宅時間中だったりということもあり、どうしても車で帰らないといけない人も出てくると思います。子育て中の視点からも、事故に巻き込まれないような対策として、市のみでの対応ではないと思いますが、災害が起きないように要所に人が立ち、誘導等の対策をしていただければ良いと思いました。

会長

御意見ありがとうございました。事務局から何かございますか。

事務局

当該箇所は府道であるかと思えます。府土木事務所の職員、委託先業者、警察等も連絡をとりながら、事故がないような対応をされていたと考えております。

本市におきましても、事例を踏まえ関係機関と連携し、今回の内容を教訓として体制強化に努めて参りたいと思っております。

会長

他にいかがでしょうか。

それでは次の案件に移させていただきます。

事務局より案件4「その他防災に関する取り組みについて」説明後に審議

会長

ただいま報告のありました内容につきまして、御質問、御意見ございますか。

委員

マンション防災、防災教育、情報インフラに関して質問させていただきます。

まずマンション防災ですが、分譲型と賃貸型でかなり違うと思いますが、その辺りへのアプローチはどうでしょうか。分譲型は管理組合がありますが賃貸はなく、なかなか難しいというところがあります。また、補助制度などを設けていらっしゃるということですが、やはり防災に取り組んでいないマンションは補助金があってもなかなか進まないということがあると思います。先ほど、出前講座のお話もありましたが、例えばアドバイザーを送る等の取り組み等も考えていらっしゃるのでしょうか。私の住んでいる地域では、昨年、アドバイザーを送ってもらいマンション防災のマニュアルを作成したところ、非常に良いものができました。

2つ目に、防災教育に関してです。実践的な防災教育ということ、防災計画に追記されています。体験型の防災事業という話をされていたのでそれに関連するかと思います、あえて実践的と入れていることに関して教えてください。

3点目に情報に関してですが、ラジオやSNS等あらゆる年齢層を対象にしているということですが、高齢者はどうしても情報弱者になるということがあります。ラジオのPRやLINEの操作方法を教えるなど、そういった取り組みはされているのでしょうか。

事務局

マンション防災の点ですが、分譲型のマンションを中心に取り組みを進めております。マンションの戸数が何百単位のもので建っておりますので、管理組合等を含めて進めさせていただいているところです。

防災教育に関しまして、なぜ実践的なのという御質問でありました。今までの防災教育は聞いて終わりのような面が多かったところですが、実際に自分たちの手足を動かし作業をしていただくことで、災害が発生したときに思い出していただく一助になることを期待するもので、実践的という言葉を使っております。

情報の発信ですが、今までもPRしてきておりますLINEをこれからも更に力を入れて周知をして参りたいと考えております。ラジオについては、広報紙や出前ミーティング等、機会ある毎に、ラジオを聴いてくださいということと86.2MHzに周波数をあわせてくださいという御紹介を進めて参りたいと考えております。LINEの使い方につきましては、1人ずつへのレクチャーは難しいですが、まず友だち登録をしていただくためのPRを更に進めて参りたいと思っております。

会長

LINEについて、友だち登録が8万人を超えている理由の一つとして、ワクチン接種の予約をLINEを使って実施したことがあります。

また、各種事業においてLINEを使ったサービスを始めており、例えば防犯灯が切れた通報等もLINEで可能となっています。

LINEは高齢者は使っていないと思っておりますと、抽出すると実は高齢者も相当使っており、かなり有効な手段であると認識をしております。

しかし、やはり使えない方もおられますので、LINE教室やスマホ教室等についても、デジタルデバイス対策として同時に取り組んでおりますので、補足で申し上げます。

他にいかがでしょうか。

委員

福祉避難所について、現在、長岡京市では10法人指定されていますが、この10法人の避難所指定された施設へ実際何人避難できるのでしょうか。

障がい者は、人口の6%~7%といわれていますので、長岡京市だけでも5,000人~6,000人が障がい者手帳を持っている人がいると思われれます。それだけではなく、高齢者ももちろん福祉避難所に入るので、1万~2万という対象者がいるのではないかと思います。

実際に福祉避難所を開設するには、その施設の管理者に開けていただく必要があります。

福祉避難所開設と要配慮者移送訓練の終了後に、各法人との意見交換を行ったとされていますが、意見交換の中で、実際に受け入れできる人数や対応できることとできないことなど、具体的に出た意見について、いくつか御紹介ください。

福祉避難所が10法人ありますが、全市が被災した場合、おそらく何十人程度しか避難できないのではないかと思います。当然、一部の被災であれば対応可能と思いますが、受け入れ側からどのような説明があったのか、教えていただければありがたいと思います。

事務局

今回は10法人に訓練を御見学いただいておりますが、協定先としては22施設で、人数は約700人の受入を御協力いただけるという内容で協定を締結しています。

訓練の後、どんな意見があったかということですが、実際に受入れる手順や資機材の考え方など、御理解いただいている法人もある一方で、協定は締結したものの踏み込んで考えていないという法人もございました。

市としては施設をお借りするという立場でありますので、まずは福祉避難所として開設する際に市が準備可能な資機材の共有や、御協力いただきたい内容等の意思統一から図っていく必要があると考えております。

人数につきましては700人しか受け入れ先がありませんので、不足していると考えております。この700人中、優先順位をどのようにつけて御利用いただくのか、ということも今後の課題と思っております。

会長

まだまだ現状で十分という認識はしておりませんので、様々な課題を含めて今後も対応して参りたいと思います。

他にいかがでしょうか。

委員

マンションは管理組合があり、自治会に加入していないことが実態としてあります。例えば、小学校区一斉の防災訓練があっても、自治会からそのようなマンションに対するPRなどは、現状実施していません。

間接的には地域の掲示板のチラシ等で伝わりますが、自治会として促進ができていないことが実態です。マンションとは別ですが、自治会が未組織の地域については、民生委員を經由して呼びかける活動をしています。マンションに関しては、なかなか応じていただけないことがあり、そういったところに市として補助金を出して、自主防災組織等を作るように指導、促進していくという事は、それはそれで非常に良いことだと思います。

ただし、自治会にも自主防災組織があるため、その地域にあるマンション管理組合が、また自主防災組織を作ると、この関係がどうなのかという疑問があります。

災害に自治会に加入している、していないは関係ありませんから、制度そのものを活用することは良いことですが、自治会側として考えた際、一体どのように関係をもつのかということが疑問でありますので、進めるにあたり自治会とも相談しながらという点を調整していただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

事務局

これから共助がより大事になってくると考えております。自主防災組織を作ることをきっかけに、例えば自治会に入ってくださいとか、新たに自治会を組織していただくとか、そういったことも期待しており、自治会の方とも協議させていただきながら取り組みを進めて参りたい思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長

基本はやはり既存の自治会や自主防災会がベースだと考えております。その中でマンション特有の課題があり、働きかけにより動きがあれば、近隣の自治会、また地域コミュニティ協議会としっかり情報共有しながら、全体として取り組めるよう進めたいと考えておりますので、御理解いただけたら幸いです。

他にいかがでしょうか。

委員

以前、防災の出前講座をお願いしたことがありました。その際、学校や幼稚園、保育所等に所属する前の未就園児をもつ親が、抱っこやベビーカーで避難しないといけない時に避難方法はどうすれば良いか等を聞きたいということで集まっていたいただきましたが、一般的な防災について教えていただき、子育て中の方がすぐに使えるような情報があまり組み込まれておりませんでした。その際に要望は出させていただきましたが、それも数年前のことであり、現在は何の

ようになっていますでしょうか。

学校、保育所、幼稚園等は、防災訓練が入ってくると思いますが、それまでのお子さんをお持ちの方は機会がありませんので、もし組み込まれていないようでしたら市で取り組んでいただければと思います。また、防災だけではやはり若い世代の方に届かないことも多いので、子育て支援事業の取り組み等と掛け合わせたイベント等を実施すると、自然と耳に入ると思います。昨年、サポセンフェスタで防災を掛け合わせて実施されましたが、そういった取り組みは非常に良いと思いました。未就園児や妊婦等の避難は、障がいをお持ちの方等の要配慮者と同じような扱いになってくると思いますので、取りこぼれにならないように目を向けていただけたらと思います。

事務局

現在の標準的な出前講座では組み込んでおりませんが、お申し込みの際にどのような内容を具体的に希望されるのか御相談いただければ、その内容を含めてお話させていただくことが可能です。

御指摘のとおり、防災というと堅苦しいイメージなってしまいますので、他の様々取り組みと掛け合わせる機会があれば挑戦していきたいと思っております。

会長

御意見をいただきましてありがとうございました。

また参考にしながら、どういったことができるのか、本市としても考えて参りたいと思っております。

他にいかがでしょうか。

御質問、御意見もつきたようでありますので、会議を閉会させていただきます。